

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年8月10日まで（2017年12月22日設定）	
運用方針	インド債券オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公社債、および国際機関債に投資を行います。社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引等を行います。債券の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	インド債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	インドの公社債*、および国際機関債 *社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 社債への実質投資割合は、取得時において、信託財産の純資産総額の60%以下とします。 同一企業が発行する社債への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 社債への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の60%以内とします。 同一企業が発行する社債への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際インド債券オープン
（年1回決算型）

第4期（決算日：2021年9月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際インド債券オープン（年1回決算型）」は、去る9月10日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(参 考 指 数)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 期 騰 落 中 率	J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円換算)	期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2017年12月22日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	1
1期(2018年9月10日)	8,670	0	△13.3	8,732	△12.7	95.4	—	110
2期(2019年9月10日)	9,500	0	9.6	9,951	14.0	95.7	—	103
3期(2020年9月10日)	9,938	0	4.6	10,622	6.7	95.4	—	84
4期(2021年9月10日)	10,575	10	6.5	11,493	8.2	95.4	—	38

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円換算) は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India (インド・ルビー建て、ヘッジなし) (出所: J.P. Morgan) の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。

情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円 換 算)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2020年9月10日	円 9,938	% —		% —	% 95.4	% —
9月末	9,849	△0.9	10,557	△0.6	95.7	—
10月末	9,816	△1.2	10,515	△1.0	95.3	—
11月末	9,816	△1.2	10,529	△0.9	96.4	—
12月末	9,910	△0.3	10,649	0.3	96.0	—
2021年1月末	10,040	1.0	10,797	1.7	97.0	—
2月末	10,068	1.3	10,833	2.0	96.4	—
3月末	10,487	5.5	11,277	6.2	95.5	—
4月末	10,278	3.4	11,080	4.3	95.3	—
5月末	10,634	7.0	11,467	8.0	95.8	—
6月末	10,459	5.2	11,279	6.2	94.0	—
7月末	10,340	4.0	11,155	5.0	93.7	—
8月末	10,598	6.6	11,499	8.3	95.7	—
(期 末) 2021年9月10日	10,585	6.5	11,493	8.2	95.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第4期：2020年9月11日～2021年9月10日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	9,938円
第4期末	10,575円
既払分配金	10円
騰落率	6.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことやインド・ルピーが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

取引コストなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

▶ 債券市況

インド5年国債利回りは概ね横ばいとなりました。

期首から2021年1月上旬にかけては、インド準備銀行（RBI）が国債買い入れオペなどによる流動性供給を積極的に実施したことなどから、利回りは低下基調で推移しました。その後、インド政府が公表した予算案が景気底上げを優先し大幅な財政赤字を容認するものであったことなどから、利回りは上昇基調を辿りました。3月中旬以降は、新型コロナウイルスのデルタ変異株が感染拡大する中、RBIの国債買い入れオペに伴う需給改善に加え、流通市場での国債買い入れプログラムの発表を受け利回りは低下基調で推移しました。5月中旬に感染状況がピークアウトし、商品価格上昇によるインフレ率上昇から6月には利回りが上昇する局面もあったものの、7月中旬以降は利回りは低下基調で推移しました。期を通じてみると、インド5年国債利回りは概ね横ばいとなりました。

▶ 為替市況

インド・ルピーは対円で上昇しました。

主要先進国中央銀行の緩和的な金融環境を背景に投資家のリスクセンチメントが改善したことなどがインド・ルピーの対円での上昇要因となりました。新型コロナウイルスのデルタ変異株が感染拡大した局面では対円で下落したものの、期を通じてみると、インド・ルピーは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

- ▶ **国際インド債券オープン（年1回決算型）**
インド債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。
- ▶ **インド債券オープン マザーファンド**
インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。

※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。

インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。

インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いインド・ルピー建債券を積極的に組み入れています。

外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

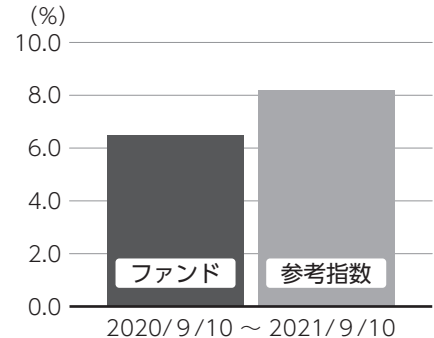
デュレーションについては、期首は5.0程度とし、期末は5.4程度としました。

※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第4期
	2020年9月11日～2021年9月10日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.094%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,657

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際インド債券オープン（年1回決算型）

引き続き、インド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

▶ インド債券オープン マザーファンド

インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。

インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。

インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

2020年9月11日～2021年9月10日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	168	1.650	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(85)	(0.836)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(78)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	10	0.100	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.096)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	178	1.750	

期中の平均基準価額は、10,174円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

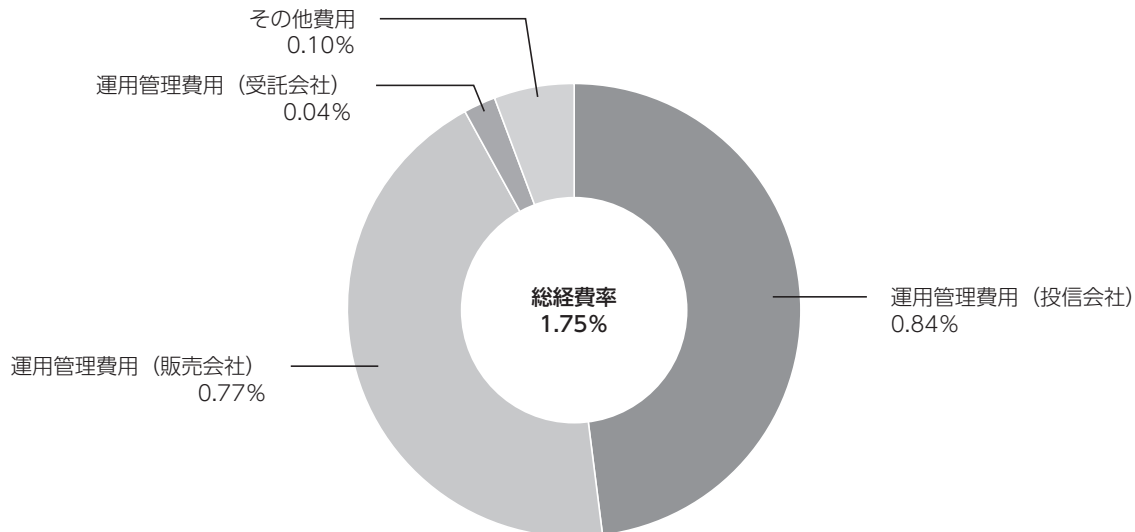
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.75%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月11日～2021年9月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インド債券オープン マザーファンド	千口 5,809	千円 11,341	千口 31,930	千円 59,064

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月11日～2021年9月10日)

利害関係人との取引状況

<国際インド債券オープン（年1回決算型）>

該当事項はございません。

<インド債券オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 7,777	百万円 —	% —	百万円 20,683	百万円 4,526	% 21.9

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2021年9月10日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インド債券オープン マザーファンド	千口 45,162	千口 19,041	千円 38,574

○投資信託財産の構成

(2021年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
インド債券オープン マザーファンド	千円 38,574	% 98.8
コール・ローン等、その他	453	1.2
投資信託財産総額	39,027	100.0

(注) インド債券オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (31,645,616千円) の投資信託財産総額 (31,962,424千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.78円	1 インドルピー=1.50円		
------------------	----------------	--	--

○特定資産の価格等の調査

(2020年9月11日～2021年9月10日)

<インド債券オープン マザーファンド>

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	17

当期に、国際インド債券オープン（年1回決算型）の主要投資対象であるインド債券オープン マザーファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年9月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	39,027,598
コール・ローン等	439,529
インド債券オープン マザーファンド(評価額)	38,574,333
未収入金	13,736
(B) 負債	337,228
未払収益分配金	36,586
未払解約金	12,265
未払信託報酬	287,733
その他未払費用	644
(C) 純資産総額(A-B)	38,690,370
元本	36,586,282
次期繰越損益金	2,104,088
(D) 受益権総口数	36,586,282口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,575円

<注記事項>

- ①期首元本額 85,235,259円
 期中追加設定元本額 11,217,899円
 期中一部解約元本額 59,866,876円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0575円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年9月11日～ 2021年9月10日
費用控除後の配当等収益額	1,770,599円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	1,441,573円
分配準備積立金額	2,890,340円
当ファンドの分配対象収益額	6,102,512円
1万口当たり収益分配対象額	1,667円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	36,586円

○損益の状況（2020年9月11日～2021年9月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 32
支払利息	△ 32
(B) 有価証券売買損益	2,535,726
売買益	2,885,495
売買損	△ 349,769
(C) 信託報酬等	△ 659,967
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,875,727
(E) 前期繰越損益金	1,664,750
(F) 追加信託差損益金	△1,399,803
(配当等相当額)	(1,415,749)
(売買損益相当額)	(△2,815,552)
(G) 計(D+E+F)	2,140,674
(H) 収益分配金	△ 36,586
次期繰越損益金(G+H)	2,104,088
追加信託差損益金	△1,399,803
(配当等相当額)	(1,441,573)
(売買損益相当額)	(△2,841,376)
分配準備積立金	4,624,353
繰越損益金	△1,120,462

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2021年9月10日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

インド債券オープン マザーファンド

《第20期》決算日2021年8月10日

[計算期間：2021年2月11日～2021年8月10日]

「インド債券オープン マザーファンド」は、8月10日に第20期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。
主要運用対象	インドの公社債*、および国際機関債 *社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限られません。）が発行する社債を含みます。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 社債への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の60%以内とします。 同一企業が発行する社債への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落率	J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円換算)	騰落率			
16期(2019年8月13日)	17,270	3.2%	18,107	4.1%	96.6%	—	50,019
17期(2020年2月10日)	18,514	7.2%	19,384	7.1%	95.3%	—	48,212
18期(2020年8月11日)	18,350	△0.9%	19,343	△0.2%	96.5%	—	42,274
19期(2021年2月10日)	18,940	3.2%	19,861	2.7%	97.3%	—	37,166
20期(2021年8月10日)	19,877	4.9%	20,803	4.7%	94.8%	—	32,356

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円換算) は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India (インド・ルピー建て、ヘッジなし) (出所: J.P. Morgan) の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。
- 情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円 換 算)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年2月10日	円	%		%	%	%
	18,940	—	19,861	—	97.3	—
2月末	19,096	0.8	20,042	0.9	96.7	—
3月末	19,923	5.2	20,863	5.0	95.8	—
4月末	19,551	3.2	20,499	3.2	95.6	—
5月末	20,258	7.0	21,214	6.8	96.1	—
6月末	19,951	5.3	20,866	5.1	94.3	—
7月末	19,750	4.3	20,637	3.9	94.0	—
(期 末) 2021年8月10日						
	19,877	4.9	20,803	4.7	94.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

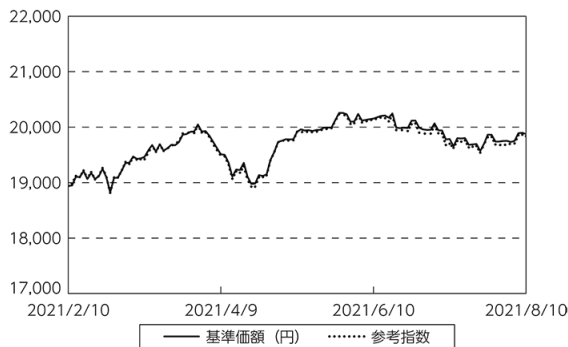
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・債券利子収入を享受したことやインド・ルピーが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

- ・インド国債の利回りが上昇したことが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・インド5年国債利回りは上昇しました。
- ・2021年3月中旬以降インド国内において新型コロナウイルスのデルタ変異株が感染拡大する中、インド準備銀行(RBI)の国債買入れオペに伴う需給改善に加え、流通市場での国債買入れプログラムの発表などにより利回りは低下しました。その後、5月中旬に感染状況はピークアウトしたものの、6月中旬以降は商品価格の上昇とロックダウンによる供給停滞が市場予想を上回るインフレ率の上昇を招いたことから、利回りは上昇しました。結果、期を通じ

てみると、インド5年国債利回りは上昇しました。

◎為替市況

- ・インド・ルピーは対円で上昇しました。
- ・インド国内における新型コロナウイルスのデルタ変異株の感染拡大を受けて、2021年4月上旬にインド・ルピーは対円で下落したものの、感染状況が落ち着くにつれて反発しました。その後、6月に米連邦公開市場委員会（FOMC）において2023年に2回の利上げが示唆され、投資家のリスクセンチメントが後退した局面では対円で下落しました。結果、期を通じてみると、インド・ルピーは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。

※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。

- ・インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。

- ・インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いインド・ルピー建債券を積極的に組み入れています。
- ・外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。
- ・デュレーションについては、期首は5.1程度とし、期末は5.3程度としました。
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

○今後の運用方針

- ・引き続き、インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。
- ・インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。
- ・インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。
- ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年2月11日～2021年8月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	10	0.050	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(10)	(0.050)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、19,701円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年2月11日～2021年8月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル —	千アメリカドル 10,585
	インド	国債証券	千インドルピー 758,225	千インドルピー 2,346,175
特殊債券		—	669,207	
社債券		—	1,082,561	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引状況

種 類	取 引 契 約 金 額
直物為替先渡取引	百万円 8,307

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月11日～2021年8月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 6,038	百万円 —	% —	百万円 13,112	百万円 2,090	% 15.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年8月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 18,100	千アメリカドル 19,074	千円 2,105,043	% 6.5	% —	% —	% 1.7	% 4.8
インド	千インドルピー 17,950,000	千インドルピー 19,164,457	28,555,042	88.3	13.3	70.7	8.7	8.9
合 計	—	—	30,660,085	94.8	13.3	70.7	10.4	13.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	当期		償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	社債券	3.75 ONGC VIDES 230507	4,000	4,160	459,122	2023/5/7
		3.875 POWER GRID 230117	3,600	3,746	413,412	2023/1/17
		4.75 NTPC LTD 221003	5,000	5,201	574,071	2022/10/3
		5.375 OIL INDIA 240417	4,500	4,943	545,555	2024/4/17
		5.4 RELIANCE IN 220214	1,000	1,022	112,880	2022/2/14
小	計				2,105,043	
インド			千インドルピー	千インドルピー		
	国債証券	5.77 INDIA GOVT 300803	350,000	336,660	501,623	2030/8/3
		5.79 INDIA GOVT 300511	750,000	722,250	1,076,152	2030/5/11
		6.19 INDIA GOVT 340916	600,000	567,653	845,804	2034/9/16
		6.68 INDIA GOVT 310917	700,000	707,525	1,054,212	2031/9/17
		7.16 INDIA GOVT 500920	100,000	100,250	149,372	2050/9/20
		7.19 INDIA GOVT 600915	50,000	50,083	74,624	2060/9/15
		7.57 INDIA GOVT 330617	450,000	478,800	713,412	2033/6/17
		7.59 INDIA GOVT 290320	1,150,000	1,234,525	1,839,442	2029/3/20
		7.61 INDIA GOVT 300509	750,000	804,532	1,198,753	2030/5/9
		7.73 INDIA GOVT 341219	500,000	538,000	801,620	2034/12/19
		7.88 INDIA GOVT 300319	1,050,000	1,147,387	1,709,607	2030/3/19
		8.13 INDIA GOVT 450622	150,000	166,800	248,532	2045/6/22
		8.17 INDIA GOVT 441201	500,000	562,571	838,230	2044/12/1
		8.24 INDIA GOVT 331110	800,000	894,400	1,332,656	2033/11/10
		8.3 INDIA GOVT 400702	700,000	785,454	1,170,327	2040/7/2
		8.6 INDIA GOVT 280602	100,000	112,171	167,135	2028/6/2
		9.2 INDIA GOVT 300930	350,000	410,251	611,275	2030/9/30
		9.23 INDIA GOVT 431223	550,000	674,108	1,004,421	2043/12/23
	特殊債券	7.2 NABARD 311021	250,000	257,333	383,426	2031/10/21
		7.27 IND RAIL F 270615	200,000	210,379	313,465	2027/6/15
		7.55 IND RAIL F 291106	150,000	156,310	232,903	2029/11/6
		7.69 NABARD 320331	200,000	210,452	313,573	2032/3/31
		7.74 EX-IM BK IND 370526	200,000	216,173	322,098	2037/5/26
		7.83 IND RAIL F 270319	500,000	538,139	801,827	2027/3/19
		8.02 EX-IM BK IND 251029	100,000	107,910	160,786	2025/10/29
		8.11 EX-IM BK IND 310711	200,000	217,828	324,563	2031/7/11
		8.15 EX-IM BK IND 250305	50,000	53,977	80,426	2025/3/5
		8.2 NABARD 280316	100,000	107,682	160,447	2028/3/16
		8.75 IND RAIL F 261129	100,000	112,366	167,426	2026/11/29
		8.8 FOOD INDIA 280322	50,000	54,850	81,726	2028/3/22
		8.83 EX-IM BK IND 230109	50,000	52,948	78,893	2023/1/9
		8.83 IND RAIL F 230325	100,000	106,711	158,999	2023/3/25
		8.87 EX-IM BK IND 291030	50,000	56,267	83,838	2029/10/30
		8.88 EX-IM BK IND 221018	50,000	52,606	78,382	2022/10/18
		8.95 IND RAIL F 250310	150,000	166,266	247,736	2025/3/10
		9.95 FOOD INDIA 220307	500,000	516,752	769,961	2022/3/7
	社債券	7 RELIANCE IN 220831	300,000	308,523	459,699	2022/8/31

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
インド	社債券	7.3 POWER GRID 270619	7.3	500,000	524,974	782,211	2027/6/19
		7.42 LIC HOUSIN 220715	7.42	100,000	102,793	153,162	2022/7/15
		7.47 ICICI BANK 270625	7.47	150,000	156,959	233,869	2027/6/25
		7.48 LIC HOUSIN 220610	7.48	200,000	205,163	305,694	2022/6/10
		7.52 RURAL ELEC 261107	7.52	100,000	104,999	156,449	2026/11/7
		7.54 RURAL ELEC 261230	7.54	50,000	52,595	78,366	2026/12/30
		7.55 POWER GRID 310921	7.55	50,000	52,371	78,034	2031/9/21
		7.6 AXIS BANK/ 231020	7.6	200,000	210,628	313,836	2023/10/20
		7.6 ICICI BANK 231007	7.6	400,000	420,945	627,208	2023/10/7
		7.85 LIC HOUSIN 221216	7.85	50,000	52,109	77,642	2022/12/16
		7.89 POWER GRID 270309	7.89	50,000	53,735	80,065	2027/3/9
		7.9 HOUSING DE 260824	7.9	100,000	107,336	159,931	2026/8/24
		7.9 RELIANCE P 261118	7.9	400,000	424,873	633,061	2026/11/18
		7.95 HDFC BANK LT 260921	7.95	950,000	1,021,638	1,522,241	2026/9/21
		7.95 RELIANCE P 261028	7.95	100,000	106,383	158,510	2026/10/28
		7.95 RURAL ELEC 270312	7.95	200,000	213,133	317,568	2027/3/12
		8.11 RURAL ELEC 251007	8.11	50,000	53,618	79,891	2025/10/7
		8.19 NTPC LTD 251215	8.19	50,000	54,552	81,283	2025/12/15
		8.2 POWER GRID 250123	8.2	200,000	215,498	321,093	2025/1/23
		8.2 POWER GRID 300123	8.2	50,000	54,093	80,599	2030/1/23
		8.3 GAIL INDIA 220223	8.3	150,000	153,152	228,196	2022/2/23
		8.3 RURAL ELEC 250410	8.3	100,000	107,595	160,316	2025/4/10
		8.39 POWER FIN 250419	8.39	150,000	162,058	241,466	2025/4/19
		8.4 POWER GRID 300527	8.4	50,000	54,870	81,757	2030/5/27
		8.45 HOUSING DE 260518	8.45	50,000	54,589	81,337	2026/5/18
		8.45 RELIANCE P 230612	8.45	250,000	265,490	395,580	2023/6/12
8.65 POWER FIN 241228	8.65	100,000	108,922	162,294	2024/12/28		
8.8 NTPC LTD 230404	8.8	50,000	53,348	79,489	2023/4/4		
8.8 POWER GRID 230313	8.8	50,000	53,259	79,357	2023/3/13		
8.85 AXIS BANK/ 241205	8.85	50,000	54,982	81,923	2024/12/5		
9.17 NTPC LTD 240922	9.17	50,000	55,503	82,700	2024/9/22		
9.25 ICICI BANK 240904	9.25	50,000	55,377	82,512	2024/9/4		
小 計					28,555,042		
合 計					30,660,085		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引残高

種 類	取 引 契 約 残 高	
	当期末想定元本額	
直物為替先渡取引	百万円 2,317	

○投資信託財産の構成

(2021年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	30,660,085	94.5
コール・ローン等、その他	1,772,896	5.5
投資信託財産総額	32,432,981	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(31,743,713千円)の投資信託財産総額(32,432,981千円)に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.36円	1 インドルピー=1.49円	
------------------	----------------	--

○特定資産の価格等の調査

(2021年2月11日～2021年8月10日)

特定資産の種類	件数
直物為替先渡取引	6

当期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月10日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	32,432,981,861
コール・ローン等	984,876,664
公社債(評価額)	30,660,085,852
未収入金	4,462,925
未収利息	683,556,420
差入委託証拠金	100,000,000
(B) 負債	76,893,944
未払解約金	76,892,895
未払利息	1,049
(C) 純資産総額(A-B)	32,356,087,917
元本	16,278,407,352
次期繰越損益金	16,077,680,565
(D) 受益権総口数	16,278,407,352口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,877円

○損益の状況 (2021年2月11日～2021年8月10日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	1,122,116,158
受取利息	1,122,198,837
支払利息	△ 82,679
(B) 有価証券売買損益	643,795,415
売買益	1,093,011,534
売買損	△ 449,216,119
(C) 先物取引等取引損益	16,148,741
取引益	127,469,319
取引損	△ 111,320,578
(D) 保管費用等	△ 17,911,766
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,764,148,548
(F) 前期繰越損益金	17,543,057,346
(G) 追加信託差損益金	67,172,148
(H) 解約差損益金	△ 3,296,697,477
(I) 計(E+F+G+H)	16,077,680,565
次期繰越損益金(I)	16,077,680,565

<注記事項>

- ①期首元本額 19,623,718,633円
 期中追加設定元本額 70,792,092円
 期中一部解約元本額 3,416,103,373円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.9877円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

インド債券オープン(毎月決算型)	9,669,190,786円
国際インド債券オープン(毎月決算型)	4,521,838,675円
インド債券オープン(年1回決算型)	2,068,339,940円
国際インド債券オープン(年1回決算型)	19,037,951円
合計	16,278,407,352円

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。